



地域医療連携室より

平素より患者様をご紹介いただき、ありがとうございます。

地域医療連携室は専任スタッフ2名で構成されており、日々、紹介状セットや医療連携協力医療機関認定証の発送、ご紹介元クリニック様や患者様からのお問合せの対応、水道橋畔発の発行準備、医療連携報告会の準備などクリニック様との『連携』に関する案件のバックオフィス業務、並びに摂食嚥下リハビリテーション科のバックオフィス業務を担当しております。

病院スタッフとして、患者様へも、患者様のご紹介をいただく先生方へも『思いやりの心』を念頭にお役に

立てるよう努力してまいります。

ご紹介に関してのお問合せ等がございましたら連携室までご連絡ください。



地域医療連携委員会委員長と専任・メインスタッフ

令和4年4月より
受付スタッフの制服が
変わりました。
総合受付、各診療科受付にて
患者様をお待ちしております。



1890 東京歯科大学 水道橋病院

住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18

電話番号 03-3262-3421 (代表)

ホームページ <http://www.tdc.ac.jp/sh/>



東京歯科大学水道橋病院

検索

編集後記

2022年6月から、東京歯科大学水道橋病院は新体制でのスタートとなりました。そこで本号では当初の予定を急遽変更し、新体制号といたしました。山下新病院長や、鳥山、高野、古澤、新谷各副病院長からのご挨拶に加え、佐々木部長体制下の口腔インプラント科をご紹介いたしました。また、4月から新しいメンバーが加わった歯科衛生士部や職員の制服の変更についてもご紹介いたしました。新たな体制のもと、スタッフ一丸となってこれからも様々なニーズに応えながら安全で快適な医療を提供できるように努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(小鹿 恭太郎 記)

次回、第36号では

スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科、健康スポーツ歯科、摂食嚥下リハビリテーション科について詳しく紹介します。

“思いやりの心による医療”を理念に

東京歯科大学 水道橋病院



水道橋畔発

第35号 令和4年6月

Content

病院長より

「思いやりの心による医療」を目指して

東京歯科大学水道橋病院病院長 山下 秀一郎

コンプライアンスの一面を支えます

東京歯科大学水道橋病院副院長 鳥山 佳則

地域医療連携の効率化を目標に

東京歯科大学水道橋病院副院長 古澤 成博

安心安全な医療の提供に努めます

東京歯科大学水道橋病院副院長 高野 正行

育成系の副病院長として

東京歯科大学水道橋病院副院長 新谷 誠康

口腔インプラント科の紹介

専門的口腔管理の
プロフェッショナルとして

地域医療連携室より





「病院長より」

「思いやりの心による医療」を目指して

東京歯科大学水道橋病院病院長 山下 秀一郎

この度、令和4年6月1日付けをもちまして、東京歯科大学水道橋病院の病院長に就任いたしました。伝統ある本院の病院長を拝命することは、改めて身に余る光栄でありますとともにその責任の重さを痛感しております。本院は、1900年（明治33年）に東京歯科大学の前身である東京歯科大学に隣接して開設された血脇歯科診療所に端を発します。創設以来120年を超えた現在まで、良質な医療の提供、優秀な歯科医師の輩出に貢献してまいりました。

我が国では、2007年に世界最速で超高齢社会に突入し、2025年には高齢化率が約30%に達すると見られています。その結果、健康寿命の延伸と健康格差の縮小のために、口腔の健康と全身の健康の関わりが謳われるようになってきました。口腔の健康は、口から食べる喜び、話す楽しみを保つ上で重要であり、生活の質の向上にも大きく寄与していることから、充実したライフステージを送るために高い注目が集まっています。

このように、人口構造の変化に伴い患者様の医療に対するニーズに新たな方向性が生じていることに加え、社会的・経済的・技術的変革も伴い、医療を取り巻く環境も大きな転換期を迎えています。



本院では、このような動向に合わせて、院内、院外の両面からシステムを整備してまいりました。院内に目を向ければ、各診療科の医師は専門領域における適切な教育を受け、十分な知識・経験のもとに診療ガイドラインに沿った最も信頼性の高い医療を提供できるよう研鑽をつんでおります。小児・成人・高齢者の各ライフステージにおいて最適な医療が提供できるよう、各診療科、各職種が連携をとりながら、

日々務めております。院外においては、私がこれまで地域医療連携を担当していたこともあり、近隣の先生方からご紹介頂きやすいシステムをさらに発展できるよう取り組んでまいります。

併せて、本院は歯学部学生、短期大学学生、及び研修歯科医を対象とした教育病院としての機能を有しております。特に、歯学部学生は一定の技能と知識を習得した Student Dentist として診療チームに参加し研鑽を積んでおります。

本院の理念である「思いやりの心による医療」は全職員に確実に浸透しております。一人一人の患者様としっかり向き合い、

寄り添い、信頼に足る医療をご提供できるよう、病院全体が一丸となって尽力してまいります。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



コンプライアンスの一面を支えます

東京歯科大学水道橋病院副病院長 鳥山 佳則

引き続き、6月から副病院長を務めることになりました。私は非臨床系であり、普段は短期大学学長として歯科衛生士法などを講義しています。また、歯学部1年生に歯科医療管理学入門の講義を行っています。副病院長としては、個人情報保護、薬事、倫理、治験、防災管理の委員長を担当しています。これらの委員会の中でも特に個人情報保護に注力しており、毎年、水道橋病院教職員研修、登院前歯学部生及び短期大学学生に、ポイ

2p

ントを絞った講義を行っています。他の大学病院でも、毎年のように個人情報保護の漏えいの報道がなされ、多くは、USBやPC等の紛失です。現在、水道橋病院では、USB等の電子記録媒体やカメラは病院への登録制とし、また、SDカードはカメラから取り出さず、PCに取り込むよう推奨しています。幸い、これまで、大きな問題に発展する事案はありませんが、常に注意を払っていきたく思います。



地域医療連携の効率化を目標に

東京歯科大学水道橋病院副病院長 古澤 成博

この度、6月1日付で水道橋病院副病院長を拝命いたしました古澤です。大変光栄であると同時に、職務の重さに改めて身が引き締まる思いであります。私が水道橋病院の副病院長職を拝命するのは、今回で通算10年目となります。思えば2007年6月柿澤先生時代に3年間病院長補佐（当時の副病院長に準じた立場）を拝命し、一戸先生時代の2013年5月までの3年間を経て、片倉先生が病院長に就任された2019年6月より再度務めさせていただいておりました。副病院長職は、複数人数で病院の複雑な業務を支えることによって、病院全体の運営を円滑に行うための重要な役割で

あると思っております。今回私は、20年以上関わり合いを持たせて頂いております卒業臨床研修医担当に加え、新たに地域医療連携も担当させて頂くことになりました。水道橋病院が地域の支援病院として効率的に機能するために、地域の歯科医院の先生方から、ただ単に患者様をご紹介頂くということのみならず、当病院が果たさなければならない、基本的な医療連携についての問題を勘案し、より良い環境に向け整備を行うよう責務を全うする所存でおります。皆様方には、今まで以上に何卒宜しくご協力の程をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



安心安全な医療の提供に努めます

東京歯科大学水道橋病院副病院長 高野 正行

このたび先の任期に引き続いて医療安全担当の副病院長を仰せつかりました。患者様に安全な医療サービスをご提供することは、今日の医療の最も基本的な要件の一つです。しかしその内容は医療事故防御、感染予防対策、放射線安全管理など多岐に及びます。そのため、病院は医療安全を推進する組織体制を構築し、いつもスタッフの安全意識を啓発することが求められています。われわれは連携している先生方からご紹介

いただいた大切な患者を治療して症状を改善するのはもちろんのこと、事故なく安全にお返しできるように日々努めて参りたいと存じます。また私が専門とする口腔外科に、日ごろ多くの患者様をご紹介いただき心より感謝しております。当院には顎口腔領域のさまざまな疾患や症状の方が来院されますが、複雑な疾患にも対応できる多くの専門診療科があります。これからもこれらの診療科と密に連携して皆様のニーズに対応して参ります。



育成系の副病院長として

東京歯科大学水道橋病院副病院長 新谷 誠康

2022年6月より水道橋病院副病院長を拝命致いたしました新谷誠康です。2008年より千葉病院小児歯科部長、2013年から水道橋病院小児歯科部長として小児・障害児歯科医療に携わってまいりました。さらに今回は歯科衛生士部も担当させていただくことになり、これまで以上の重責に身の引き締まる思いです。当病院は各医療機関との連携を密にした高次歯科医療を担い、安全で質の高い医療を提供するとともに、常に「思いやりの心

による医療」を目指し、患者様に安心で満足のいく医療の提供を心がけています。私は育成系の副病院長、小児歯科部長として、この「思いやりの心」を大切に病院長の補佐をできればと考えております。また、少子高齢化によって、高齢者の歯科医療が注目されがちですが、私は育成の観点から病院運営に少しでもお役に立てればと思います。なにぶん、副病院長としては新人でございますので、ご協力、ご支援を宜しく願い申し上げます。

3p



口腔インプラント科の紹介

口腔インプラント科は、日本口腔インプラント学会、日本顎顔面インプラント学会の認定研修施設であり、これら専門学会に所属した常勤医 10 名、非常勤 9 名の歯科医師ならびに歯科衛生士 5 名の体制で、診療にあたっております。

【患者さまの紹介について】

平素より、多くの患者様のご紹介を頂きまして誠にありがとうございます。当科では例年 600 名程の初診患者さまにご来院頂いており、その内約半数が先生方のご紹介からとなっております。コロナ禍の影響もあり、一昨年は初診患者数が落ち込みましたが、昨年は先生方からのご協力を多く頂きまして例年に近い人数の初診患者を受け入れることができました。(図 1) 当科へご紹介を頂きました患者さまに関しては、当科所属 5 年目以上の歯科医師が担当いたします。また、全ての症例に対して科内カンファレンスを実施しており、各症例

【図 1】初診患者数と院外紹介患者の割合



の難易度などの状況にあわせて診療体制を整えております。

患者さまをご紹介して頂く際は、本院口腔インプラント科初診担当医宛もしくは当科所属歯科医師宛の紹介状作成をお願い出来ればと思います。特定の指定医がない場合、当科診療科部長 佐々木穂高 宛にご紹介を頂きましたら対応をさせていただきます。また、埋入済みインプラントへの対応の場合、インプラント体や上部構造固定様式等に関する情報がお手元にあるようでしたら、合わせて持参して頂きますようお願い致します。

【当科での治療の流れと特徴について】

当科では口腔インプラント治療をおこなうにあたり、一口腔単位ならび全身的評価のための診査・診断を実施し、インターディシナリー・アプローチを前提とした治療計画を立案、治療を行っております。そのため、インプラント治療を開始するにあたり術前処置が必要となる場合に保存科、補綴科、口腔外科、矯正歯科、高血圧症

などの有病者への術中管理が必要になる場合に歯科麻酔科など他診療科との連携がとれる体制を整えております。また、デジタルデンティストリー領域の技術を積極的に取り入れており、インプラントシミュレーションソフトを用いた治療計画や患者説明 (図 2a)、コンピュータガイドドサージェリー (図 2b) 口腔内スキャナーを用いた光学印象 (図 2c) ならびに CAD/CAM を応用した上部構造の製作 (図 2d) などを行っております。また、無歯顎などの多数歯欠損症例では、メンテナンスを重視した術者可撤式テレスコープ固定性上部構造によるインプラント補綴を行っています (図 2e)。本法の特徴として、精度の高い適合性、感染源となるセメントの不使用でかつ術者可撤式であり取り外しが容易であることが挙げられます。

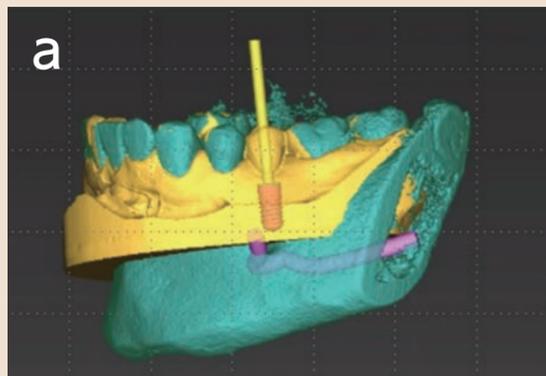
また、当科では歯牙欠損部に対するインプラント補綴治療のみならず、先天性無歯症などに対する広範囲顎骨支持型装置、埋入済みのインプラントに生じた上部構造破折などの補綴学的合併症やインプラント周囲炎に関する処置なども行っております。これらのインプラント合併症に対しては、当科で取り扱っていない種類のインプラントであっても販売元・歯科技工所と連携しながら対応をさせて頂いておりますので、気兼ねなくご相談・ご紹介を頂ければと思います。(一部、国内で取り扱いが無い等で対応が出来ない場合もございます。)

当科での口腔インプラント治療は、先生方からの多くの大切な患者さまをご紹介頂いていることで成り立っているといっても過言ではありません。今後も医局員・スタッフ一同は、多様な要望にお応えできるように精進し、より安全かつ安心で質の高いインプラント治療を提供していく所存でございますので、これからもより多くの患者さまをご紹介頂けましたら幸いに存じます。

今後とも東京歯科大学水道橋病院口腔インプラント科を何卒宜しくお願い申し上げます。



当科における口腔インプラント治療



【図 2a】シミュレーションソフトによる治療計画



【図 2b】ガイドドサージェリー



【図 2c】口腔内スキャナーによる光学印象



【図 2d】CAD/CAMで製作した最終上部構造



【図 2e】術者可撤式テレスコープ固定性最終上部構造





専門的口腔管理の プロフェッショナルとして

歯科衛生士部 上島 文江 (歯科衛生士長)

【歯科衛生士部】

歯科衛生士部は現在43名の歯科衛生士が在籍しています。これは全国歯科大学・歯学部附属病院29施設の中で3番目に多い人数です。このコロナ禍においても増員となりました。「歯科衛生士は専門的業務に従事させたい」という病院長のお考えから実現しています。

歯科衛生士は各科に配属されており、各診療科のニーズに対応した専門的口腔衛生管理を行っています。また、各科の医局員からの依頼を受け担当歯科衛生士が患者の要望に添った口腔ケアを提案して患者の長期的管理を行う「口腔ケア外来」という専門チームがあり、訪問診療も担っています。

以前私達が行っていた受付業務や滅菌業務は業務委託され、その道のプロフェッショナルが行っています。歯科衛生士も口腔衛生管理のプロとして力を発揮できる時代になりました。どの道のプロになるかも選択肢が増えてきました。これまでの目標は歯周病認定歯科衛生士の一択と言って過言ではありませんでしたが、現在は各学会の認定歯科衛生士を目指し取得する者が増加しています。昨年度、日本有病者歯科医療学会の認定歯科衛生士を取得した3名は、口腔外科の周術期や施設・居宅の訪問診療で患者の口腔衛生管理指導を行っている歯科衛生士達です。

補綴科歯科衛生士は「口腔機能低下症」の保険導入により、漠然と感じていた高齢者の口腔機能の低下を

早期に発見・検査・確定診断を得てエビデンスに基づいた機能向上のための保健指導やトレーニングを行えることが楽しいと言っています。矯正歯科・小児歯科も口唇閉鎖力測定器の検査を行い、成長期における舌の突出や口唇の閉鎖不全等に対して口腔筋機能訓練(MFT)を行なっています。麻酔科では歯科恐怖症や嘔吐反射が強い患者へのメンテナンスを行い、保存科では歯周病認定歯科衛生士や齶蝕予防管理認定歯科衛生士が歯周外科・外科的歯内療法前後のメンテナンスに携わっております。歯科衛生士は各科の高次医療に精通した上で特化した質の高いケアや指導を提供できるように日々を研鑽積んでいます。

また、口腔ケア外来で長期管理を行う患者さんの中には、その他の治療は近医のかかりつけでという患者さんも少なくありません。その様なご希望がございましたらご用命下さい。

私たち歯科衛生士部は、臨床実践能力の中でも特に病院理念である「思いやりの心による医療」の実践部隊としてコミュニケーションを大切にしています。歯科衛生士は患者さんと歯科医師の橋渡し役と心得て対応させていただきます。

これからの歯科衛生士は「口腔管理から全身的管理まで」を求められていることを念頭に置き、歯科衛生士部一丸となって努力して参ります。



病院長	山下 秀一郎	副病院長	高野 正行	令和4年6月1日現在	
副病院長	鳥山 佳則	副病院長	新谷 誠康	東京歯科大学水道橋病院 診療科担当医ご案内(レギュラースタッフ)	
副病院長	古澤 成博	副病院長			

診療科名	職名	氏名	講座名	
保存科	部長・教授	古澤 成博	歯内療法学	
	客員准教授	河野 誠之		
	医局長・講師	山田 雅司		
	講師	佐古 亮		
	助教	田宮 資己	歯周病学	
		鈴木 穂		
		中里 晴香		
	教授	齋藤 淳		
	講師	勢島 典		
	講師	今村 健太郎		
助教	喜田 大智	保存修復学		
	青木 栄人			
	山下 慶子			
教授	村松 敬			
准教授	杉戸 博記			
講師	春山 亜貴子			
	半場 秀典			
助教	中村 圭喜			
	三友 啓介			
	石塚 久子			
補綴科	教授	上田 貴之	老年歯科補綴学	
	准教授	竜 正大		
	講師	高野 智史		
		中島 純子		
		太田 緑		
	助教	齋藤 壮		
		石田 晃裕		
		中澤 和真		
	教授	関根 秀志		
	准教授	佐藤 亨		
補綴科	准教授	野本 俊太郎	クラウンブリッジ補綴学	
	講師	四ツ谷 護		
		酒井 貴徳		
	助教	露木 悠		
		川崎 貴裕		
		黒田 祥太		
	部長・教授	山下 秀一郎		パーシャルデンチャー補綴学
	医局長・准教授	田坂 彰規		
	客員准教授	堀田 宏巳		
		大平 真理子		
助教	加藤 芳美			
	鎌田 聡仁			
	岡野 日奈			
教授	高野 正行			
客員教授	柴原 孝彦			
	高木 多加志			
口腔外科	医局長・准教授	渡邊 章	口腔顎顔面外科学	
	講師	吉田 秀児		
		大野 啓介		
	助教	加藤 宏		
		小郷 直之		
		有泉 高晴		
	部長・教授	片倉 朗		口腔病態外科学
	病院教授	笠原 清弘		
	准教授	(菅原 圭亮)		
		西山 明宏		
助教	星野 照秀			
	小山 侑			
	小谷地 雅秀			
部長・准教授	小鹿 恭太郎	歯科麻酔学		
講師	半田 俊之			
医局長・助教	吉田 香織			
助教	江里口 麻子			
部長・教授	西井 康		歯科矯正学	
客員教授	末石 研二			
准教授	石井 武展			
医局長・講師	立木 千恵			
講師	片田 英憲			
	海老澤 朋宏			
助教	内山 沙姫			
	安村 敏彦			
	新谷 誠康	小児歯科学		
部長・教授	辻野 啓一郎			
講師	櫻井 敦朗			
講師	本間 宏実			

診療科名	職名	氏名	講座名
口腔インプラント科	部長・准教授	佐々木 穂高	口腔インプラント学
	医局長・助教	平野 友基	
	助教	小田 由香里	
		野本 冬歌	
スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	科長・教授	福田 謙一	口腔健康科学
	病院教授	大多和 由美	
	医局長・講師	野口 智康	
	助教	加藤 栄助	
健康スポーツ歯科	科長・教授	武田 友孝	口腔健康科学
	医局長・准教授	中島 一憲	
摂食嚥下リハビリテーション科	科長・教授	石田 瞭	口腔健康科学
	准教授	大久保 真衣	
放射線科	医局長・講師	野口 智康	歯科放射線学
	部長・教授	後藤 多津子	
	客員教授	岡野 友宏	
	准教授	和光 衛	
	医局長・講師	音成 実佳	
	講師	小高 研人	
臨床検査科	助教	佐藤 仁美	病理学
	部長・教授	松坂 賢一	
	客員教授	橋本 貞充	
	准教授	國分 克寿	
内科	助教	中島 啓	病理学
		明石 良彦	
眼科	科長・准教授	山岸 由幸	眼科
	准教授	仁科 牧子	
	科長・特任教授	ビッセン 弘子	
	医局長・講師	太田 友香	眼科
助教	上原 朋子		

()長期出張中

水道橋病院 診療案内

初診受付	平日・土曜とも8:50~11:00
お問い合わせ時間	平日8:45~17:30 土曜8:45~13:00
休診日	第2土曜・日曜・祝日・ 本学創立記念日(2月12日)・年末年始

【各診療科等ダイヤルインについて】

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせさせていただきますようお願いいたします。

5階	内科	03-5275-1926
4階	口腔外科	03-5275-1725
	歯科麻酔科	03-5275-1851
3階	放射線科	03-5275-1953
	補綴科	03-3262-3425・3426
	口腔インプラント科	03-5275-1760
2階	小児歯科	03-5275-1723
	矯正歯科	03-5275-1724
1階	スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	03-5275-1795
	眼科	03-5275-1856
2階	保存科	03-5275-1721・1722
	健康スポーツ歯科	03-5275-1721・1722
1階	摂食嚥下リハビリテーション科	03-5275-1732
	医事課	03-5275-1932
1階	地域医療連携室	03-5275-1732